

2026

9/19 SAT → 11/23 MON

収蔵浮世絵展

四ッ谷
内々
新巻

名所江戸百景

Utagawa Hiroshige's Viewpoint

新版

線目重広

歌川広重の様々な目線に迫る。

足立区立
郷土博物館



広重目線

2026

9/19 SAT → 11/23 MON

歌川広重の様々な目線に迫る。

世界的に有名な幕末の浮世絵師・歌川広重(寛政9年～安政5年、1797～1858)の晩年の大作「名所江戸百景」は、彼自身の独特な感性で風景をとらえ、名所の新しい魅力を伝えています。

本展では、平成30年に「名所江戸百景」の大胆な構図の特徴を5つのテーマで紹介し、好評を博した「広重目線」に、さらに新たに4つのテーマを加えて「新版 広重目線」として、その独特な表現力を読み解きます。

❖ 広重の視点を9つのテーマで読み解く ❖

1 見切れワザ



あえて一部が切れた描き方で、描かれていないその先や動きを想像させます。

にほんばしえとばし
日本橋江戸はし

カツオを運ぶ天秤が魚河岸日本橋を示す

2 ドアップの力



画面手前に極端に大きくものを描く近像型構図です。迫力ある画面に驚かされます。

かめいどうめやしき
亀戸梅屋敷

老木の後ろに広がる梅の名所

3 のぞき見の楽しさ



ものの間から見える風景が、のぞき見ているようなリアルな感覚を生みだします。

うえのさんないつきのまつ
上野山内月の松

誰もがのぞいて見たい風景を再現

4 センターの存在



真ん中にあるものは主役か、脇役か? 「センター」が視線を集めることで、風景の特徴を表します。

かんだみょうじんあけほのけい
神田明神曙之景

杉に隠れた日の出を見つめる神職たち

5 超上から目線



空を飛ぶ鳥が地上を斜めに見下ろすような鳥瞰視点で、全体を効果的に表現します。

すじかうちやつこうじ
筋違内ハツ小路

防火のために設けられた広場の様子を描く

6 都合のいい目かくし



風景にかかる「かすみ」や「雲」は、伝統的な日本の表現手法。距離や高さの調整などその働きは抜群です。

いちがやはちまん
市ヶ谷八幡

日本絵画の手法が門前に蔽かさもプラス

7 行列をそえて



行列が描かれることによって、季節感や街並みの奥行きなど場所の特徴が引き立ちます。

おおでんまちょうごふくだな
大伝馬町こふく店

大店の町を景気づける上棟式の一行

8 よくよく見ればありえない



細かい様子まで、よくわかりますが、正確な遠近法によらずに表現しています。

なかがわぐち
中川口

舟運で賑わう川の交差点を遠くまではっきり一望

9 水のまがり道



まがりくねった水路や川が、画面の奥行きを広げ、その先を想像させます。

たまがわづみのはな
玉川堤の花

桜並木と見物人の行列はどこまで続くのだろうか



ADACHI CITY MUSEUM
足立区立郷土博物館

足立区立郷土博物館ホームページ▶



開館時間 午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日に休館)

入館料 一般200円(高校生以上)/団体20名以上は半額

※70歳以上の方、障がい者手帳所持者およびその介護者1名は無料

※毎月第2・3土曜日は無料公開日

交通案内

JR亀有駅北口、東京メトロ千代田線北綾瀬駅、つくばエクスプレス八潮駅南口よりバス
無料駐車場あり

所在地

〒120-0001 東京都足立区大谷田5-20-1

電話

03-3620-9393 FAX 03-5697-6562